

## 第4回 産学官CIM・GISセミナーのご案内

～3次元モデルによる新たな社会インフラ管理の展望～

土木分野では今後、新規建造物の建設における高効率・高品質化や、老朽化が進む既設建造物の維持補修管理が求められております。そのため計画、調査、設計の段階から3次元モデルを導入し、段階ごとに情報を追加・充実させることが喫緊の課題となっております。本年7月3日に設立された「産学官CIM・GIS研究会」では、既設建造物の効率的なモデル構築に関する研究をベースに活動を展開しておりますが、この度下記の要領で(財)日本建設情報総合センター顧問の佐藤直良氏をお迎えして、下記の要領でセミナーを企画致しました。佐藤氏は、電子情報だけでなく、人の経験、感性を取り入れたより大きなマネジメントの概念「CIIM(シビル・インフラストラクチャー・インフォメーション・マネジメント)」を提唱し、設計・施工から維持管理に至る情報の流れを一貫したCIMの枠組づくりを進めて来られました。この度、佐藤顧問に今後の国のインフラ管理の展望を伺うとともに、北海道大学の金井教授、OCF代表理事の竹内氏にも講演をいただきます。皆様方におかれましては、ご多用の折とは存じますが、多数ご出席賜りますようお願い致します。

### 記

【日時】平成26年11月13日(木) 13:00～16:00

【会場】札幌市教育文化会館 3F 305 研修室

〒060-0001 札幌市中央区北1条西13丁目 TEL 011-271-5821

### 【プログラム】

13:00 開会

13:05～14:25

基調講演 「3次元モデルによる新たな社会インフラ管理の展望」

財団法人 日本建設情報総合センター 顧問 佐藤 直良氏

【プロフィール】1977年建設省入省、1987年建設省大臣官房技術調査官、1994年河川局計画課河川計画専門官、2002年水資源公団企画部長、2006年国土交通省大臣官房技術審議官、2008年国土交通省中部地方整備局長、2009年国土交通省河川局長、2011年国土交通省技監、2012年国土交通省事務次官、2013年国土交通省顧問、2014年退官。

14:25～14:35 質疑応答

14:35～15:15

講演 「橋梁CADプロダクトモデルIFC-Bridgeの概要と維持管理へのデータ拡張の可能性について」

北海道大学大学院情報科学研究科教授 金井 理氏

15:15～15:55

講演「CIMを支えるモデル検討とデータ連携～ベンダー組織OpenCIMForumの取組み～」

(一社)オープンCADフォーマット評議会(OCF)代表理事 竹内 幹男氏

15:55 閉会

◆参加費：一般 3,000円

産学官CIM・GIS研究会会員、産学官フォーラム、北海道GIS・GPS研究会、Digital北海道研究会会員 2,000円  
官公庁 無料

(定員150名、定員になり次第締め切らせていただきます。)

◆参加費振込先：北洋銀行 北7条支店 (普) 4034121 産学官CIM・GIS研究会 宛

◆主催：産学官CIM・GIS研究会

◆共催：北海道産学官研究フォーラム、北海道GIS・GPS研究会、NPO法人Digital北海道研究会

◆後援予定：国土交通省北海道開発局、国土交通省国土地理院北海道地方測量部、北海道、一般社団法人建設コンサルタンツ協会北海道支部、GIS学会北海道支部土木学会北海道支部、写真測量学会北海道支部、北海道GIS技術研究会、CUG北海道分会

◆連絡先：産学官CIM・GIS研究会 (担当 藤原)

〒007-0803 札幌市東区東苗穂3条1丁目 2-7-105

TEL 011-787-7650 FAX 011-312-7557 E-mail: tatsuya.fujiwara@gmail.com



# 参加申込書

申込み先：産学官 CIM・GIS 研究会 事務局：(担当：藤原)

FAXにてお申込みの場合は、下記参加申込書に必要事項を記入し送信してください。

**FAX : 011-312-7557**

E-mailにてお申込みの場合は、必要事項を記入して送信してください。

**E-mail:tatsuya.fujiwara@gmail.com**

電話にてお申込みの場合は、下記番号におかけ下さい。

**TEL : 011-787-7650**

2014年11月13日(木)の「第4回産学官 CIM・GIS セミナー」に参加します。

所属(会社)名	役職名	氏名

申込み期限：2014年11月10日(月)

## 【ご担当者】

所 属：\_\_\_\_\_

ご担当者：\_\_\_\_\_

住所 \_\_\_\_\_

Tel: \_\_\_\_\_

E-mail: \_\_\_\_\_

注1 ・E-mail アドレスをお持ちの方は、連絡を行う場合がありますので必ずご記入お願いします。

注2 ・情報につきましては、当研究会の連絡以外に使用いたしません。